

農地水環境新聞

但馬版

第20号

平成31年3月20日

発行

豊岡土地改良センター
朝来土地改良センター

〒六六九一五二〇二
兵庫県朝来市和田山町東谷二一三一九六
TEL(〇七九)六七二一六八五〇



活動継続に向けて組織の広域化を!

長期間保全活動を行ってきた組織が、農家の減少や構成員の高齢化などにより共同作業に参加する人材が集まらないことや代表者、事務担当のなり手がいないことなどを理由に活動の継続を断念する組織が出てきています。

こうした問題を解決する手段の一つとして、組織を広域化する方法があります。

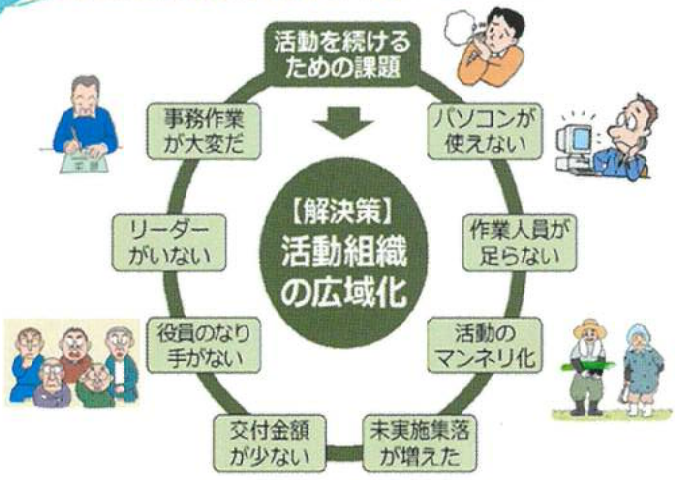
各活動組織(集落)で行っていた申請報告、会計処理、工事の外注手続などの煩雑な事務作業と行政機関とのやりとりを広域組織の事務局に集約することで事務局にかかる負担を軽減することが出来ます。

また、長寿命化では、集落に割り当てられる交付金の範囲内で少しずつしか更新できていませんでしたが、広域化により取得できるまとまった予算を周辺地域との一体的な更新や老朽化の著しい施設に集中して使用することができ、短期間で完成させることができるようになります。

組織の広域化に興味を持たれた方は、市町の担当者にご相談ください。



活動を続けたいが



組織を広域化するメリット

- リーダーや事務担当者の確保
- 組織の事務負担の軽減
- まとまった額の交付金による広範な活動が可能
- 多様な人材により活動の幅が拡大
- 持続可能な組織体制の構築
- 地域コミュニティのつながりの維持、拡大
- 集落内のコミュニケーションの活性化

平成31年度制度改正について

取組の推進と活動組織の負担軽減のため、事務の簡素化を含む制度改定が計画されています。

●活動組織が作成する様式の統廃合など簡素化が図られます。

●資源向上(共同)の交付金が加算されます。

●長寿命化工事費に上限が設けられました。

●多面的機能のさらなる増進に向けた活動の支援として、直近の取組数より1つ以上取組を増やすと継続組織で1反当り3000円(新規組織は2つ以上の取組で4000円)が加算されます。

●1件当たりの工事費の上限が、200万円となります。

●現在、鳥獣害防止のための柵の設置や農地周辺の藪等の伐採など、農地周りの共同活動の強化に取り組んでいる組織が多いですが、それに加えて、これまで取り組んでいない田んぼダム「防災・減災力の強化」を取り組むと交付金が加算されます。

●セキ板は県推進協議会から無償配布が計画されているので、大きな負担なしに取り組んでいただけます。新しい計画に加えてください。



農政局抽出検査について

今年度、但馬では11月20日から22日にかけて、香美町の2組織と養父市の4組織が受検し、特に大きな問題もなく終了したところです。その指導内容と特に気を付けていただきたいことを列記します。

○実施状況報告書

報告書は、それぞれの計画と活動記録・金銭出納簿等とマッチングしていることが必要です。

○活動の記録

日当の支払いの有無に関係なく、行った活動全てを記入します。

○立替払いを行った場合の金銭出納簿に記載する領収書の日付及び領収書

基本的には物品購入の領収月日を記入しますが、立替払いの場合は、立替えた人が立替金を受領した日付を記入します。また、領収書は物品購入時の領収書と立替えた人が立替金を受け取った時の領収書の2通が必要になります。

○総会議事録の確認と欠席者への結果の周知

総会は、年度計画や予算執行状況などについて、構成員の合意形成を図る大切な場です。議事録は必ず作成しましょう。当日やむを得ず欠席された構成員にも総会結果がしっかり伝わるようにしてください。

○日当領収書

日当は、毎活動後に支払う必要はなく、まとめて一括して支払うことも可能です。ただし、活動者個人ごとに活動日の確認をしても可なり、日当受領日付の記載と領収印(サイン)でも可が必要です。

